

セグメント情報／損益の状況

Kirayaka Bank

セグメント情報

1. 報告セグメントの概要

当行グループの報告セグメントは、当行グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的にを行う対象となっているものであります。

当行グループは、主として国内において、当行が行う銀行業務を中心に、連結子会社等においてリース業務、クレジットカード業務、コンサルティング業務及びベンチャーキャピタル業務並びに事務受託業務等を行っております。

当行グループは、銀行業務は「銀行業」を報告セグメントに、リース業務は「リース業」を報告セグメントとしております。また、連結子会社等が行うクレジットカード業務、コンサルティング業務及びベンチャーキャピタル業務並びに事務受託業務等は、その金額の全体に対する重要性を考慮し「その他」に含めております。「銀行業」は主に預金業務、貸出業務、為替業務、有価証券投資業務等を行っており、「リース業」は、主に機械・器具備品等のリース取引を行っております。

2. 報告セグメントごとの経常収益、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と同一であります。

報告セグメントの利益は経常利益であります。また、セグメント間の内部経常収益は、第三者取引価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの経常収益、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

(単位：百万円)

	2022年3月期 (2021年4月1日から 2022年3月31日まで)						
	報告セグメント			その他	合計	調整額	連結 財務諸表 計上額
	銀行業	リース業	計				
経常収益							
外部顧客に対する経常収益	16,876	6,616	23,493	576	24,069	△ 45	24,024
セグメント間の内部経常収益	259	55	315	458	773	△ 773	—
計	17,135	6,672	23,808	1,034	24,843	△ 819	24,024
セグメント利益	1,804	307	2,111	72	2,184	△ 184	1,999
セグメント資産	1,371,104	19,420	1,390,524	34,241	1,424,766	△ 39,746	1,385,020
セグメント負債	1,319,932	12,147	1,332,080	32,825	1,364,905	△ 35,654	1,329,251
その他の項目							
減価償却費	667	9	677	18	695	—	695
資金運用収益	13,475	0	13,476	89	13,565	△ 212	13,352
資金調達費用	120	75	195	7	203	△ 29	173
持分法投資利益	—	—	—	21	21	—	21
持分法適用会社への投資額	—	—	—	139	139	—	139
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	296	2	298	11	310	—	310

(注) 1. 一般企業の売上高、受取利息、支払利息に代えて、それぞれ経常収益、資金運用収益、資金調達費用を記載しております。また、差異調整につきましては、経常収益と連結損益計算書の経常収益額との差異について記載しております。

2. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、クレジットカード業、コンサルティング業、ベンチャーキャピタル業及び事務受託業務等を含んでおります。

3. 調整額は以下のとおりです。

- (1) 外部顧客に対する経常収益の調整額△45百万円は、「銀行業」及び「その他」の貸倒引当金戻入額の調整です。
 - (2) セグメント利益の調整額△184百万円は、セグメント間消去等です。
 - (3) セグメント資産の調整額△39,746百万円は、セグメント間消去です。
 - (4) セグメント負債の調整額△35,654百万円は、セグメント間消去です。
 - (5) 資金運用収益の調整額△212百万円は、セグメント間消去です。
 - (6) 資金調達費用の調整額△29百万円は、セグメント間消去です。
4. セグメント利益は、連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

(単位：百万円)

	2023年3月期 (2022年4月1日から 2023年3月31日まで)						
	報告セグメント			その他	合計	調整額	連結 財務諸表 計上額
	銀行業	リース業	計				
経常収益							
外部顧客に対する経常収益	15,834	6,325	22,160	554	22,715	△14	22,700
セグメント間の内部経常収益	195	53	249	449	699	△699	—
計	16,030	6,379	22,409	1,004	23,414	△714	22,700
セグメント利益又は損失(△)	△6,099	295	△5,804	40	△5,763	△124	△5,888
セグメント資産	1,349,739	18,984	1,368,723	30,936	1,399,659	△35,804	1,363,855
セグメント負債	1,314,384	11,704	1,326,088	29,497	1,355,585	△31,720	1,323,865
その他の項目							
減価償却費	544	15	559	18	578	—	578
資金運用収益	12,252	0	12,252	90	12,343	△154	12,189
資金調達費用	96	78	174	7	182	△27	154
持分法投資利益	—	—	—	20	20	—	20
持分法適用会社への投資額	—	—	—	141	141	—	141
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	605	86	692	14	706	—	706

(注) 1. 一般企業の売上高、受取利息、支払利息に代えて、それぞれ経常収益、資金運用収益、資金調達費用を記載しております。また、差異調整につきましては、経常収益と連結損益計算書の経常収益額との差異について記載しております。

2. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、クレジットカード業、コンサルティング業、ベンチャーキャピタル業及び事務受託業務等を含んでおります。

3. 調整額は以下のとおりです。

- (1) 外部顧客に対する経常収益の調整額△14百万円は、「銀行業」及び「その他」の貸倒引当金戻入額の調整です。
 - (2) セグメント利益又は損失(△)の調整額△124百万円は、セグメント間消去等です。
 - (3) セグメント資産の調整額△35,804百万円は、セグメント間消去です。
 - (4) セグメント負債の調整額△31,720百万円は、セグメント間消去です。
 - (5) 資金運用収益の調整額△154百万円は、セグメント間消去です。
 - (6) 資金調達費用の調整額△27百万円は、セグメント間消去です。
4. セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の経常損失と調整を行っております。

国内・国際業務部門別粗利益

(単位：百万円)

	2022年3月期			2023年3月期		
	国内業務部門	国際業務部門	合計	国内業務部門	国際業務部門	合計
資金運用収支	13,346	9	13,355	12,122	33	12,155
資金運用収益	13,466	10	13,475	12,218	33	12,252
資金調達費用	120	0	120	96	0	96
役員取引等収支	2,206	△ 0	2,206	2,014	△ 0	2,013
役員取引等収益	3,426	0	3,426	3,414	0	3,414
役員取引等費用	1,219	0	1,219	1,400	0	1,400
その他業務収支	163	54	217	157	80	238
その他業務収益	1,287	54	1,342	1,370	80	1,450
その他業務費用	1,124	—	1,124	1,212	—	1,212
業務粗利益	15,716	63	15,780	14,294	113	14,407
業務粗利益率	1.19%	1.32%	1.19%	1.10%	2.63%	1.11%

(注) 1. 国内業務部門は国内店の円建取引、国際業務部門は国内店の外貨建取引でございます。なお、当行は特定取引勘定非設置行であるため、特定取引収支は該当ございません。

2. 資金運用収益及び資金調達費用の合計欄の上段の計数は、国内業務部門と国際業務部門の間の資金貸借の利息でございます。

3. 業務粗利益率=業務粗利益/資金運用勘定平均残高×100

業務純益

(単位：百万円)

	2022年3月期	2023年3月期
業務純益	2,613	2,452
実質業務純益	3,642	2,848
コア業務純益	3,658	2,868
コア業務純益(投資信託解約損益を除く。)	3,658	2,868

業務純益

1. 業務純益=業務収益-(業務費用-金銭の信託運用見合費用)
業務収益=資金運用収益+役員取引等収益+その他業務収益
業務費用=資金調達費用+役員取引等費用+その他業務費用+一般貸倒引当金繰入額+経費(臨時的経費を除く)
2. 実質業務純益=業務純益(一般貸倒引当金繰入前)
3. コア業務純益=実質業務純益-国債等債券損益